

2006年(平成18年)5月15日(月)

カメラ管内調査で協会 20社が全国展開へ

不断水カメラ管路内調査を通じて水道事業の発展に寄与することを目的とした

「全国水道不断水内視鏡調査協会」が正会員16社、賛助4社で発足した。

設立総会は4月24日、明石市内のホテルキャッスルプラザで開かれ、会長代行に増山敦雄西華産業環境開発部長を選任した。議案審議では設立趣意書を全会員一致で了承するとともに、

会員確保ならびに広報宣伝活動を中心とした平成18年度事業計画を決めた。

設立総会では、はじめに設立趣意書の発表が行われ協会の目的と活動を全会員一致で賛同。その後、役員を選出が行われるとともに18年度事業計画ならびに同予算、協会規約の3議題について審議、議案通り了承された。

会長代行に選任された増山敦雄氏は「内視鏡による不断水の水道管調査用カメラが開発されて以来、15年の歳月が経過した。今回念願であった協会の設立に至ることができた。皆さんの

ご協力をいただいて、協会を発展させていきたい」と挨拶し、会員の団結を訴えた。

18年度事業計画の具体的な取組みでは、技術者の育成を図る一環としてカメラ受講修了証の発行をはじめ、不断水内視鏡仕様・取扱いの指導、管内情報の評価について検討を行う。またカメラ機器の改良と機能向上などを中心に取り組む。

今回の正式発足により、全国ネットワーク化を図るため、今年度正会員40社、賛助会員10社の入会を目標に事業活動を展開する。

役員は次の通り。

▽会長代行〓増山敦雄西華産業営業統括本部環境開発部長▽副会長〓灰本靖彦MANIX取締役▽同〓濱田康義浜田工業社長▽専務理事〓山本政和日本水機調査社長

入会申込みおよび問い合わせ先は、全国水道不断水内視鏡調査協会事務局 電話078(927)1820まで。



明石市で開かれた設立総会